



令和7年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川

清川小
HP
↓



学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』
 キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』
 重点(目指す子どもの姿)
 【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】
 【えがおいっぱい】 【おもいやりいっぱい】
 開校60周年テーマ
 『未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～』

令和7年3月9日発行 No.22 (文責 新津 貴裕)

『子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、生き生きと活躍できる学校』

『有終の美』を目指して ～感謝の心で結ぶ一年～

窓の外にはまだ深い雪が残り、春の訪れが待ち遠しい日々が続いております。しかし、降り注ぐ日差しには少しずつ力強さが感じられ、清川の春もすぐそこまで来ていることを実感いたします。保護者の皆様、地域の皆様には、この一年間、本校の教育活動を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。

いよいよ3月、今年度の締めくくりの月を迎えました。学習のまとめや生活の振り返りを行うこの時期、私たちが大切にしたいと考えているのが「有終の美」という言葉です。これは、単に終わりを迎えるのではなく、これまで積み重ねてきた努力を丁寧にまとめ、次なるステージへとつなげる「心の仕舞い方」を意味しています。

3月9日は「サンキューの日」

本号の発行日である3月9日は、語呂合わせで「サンキュー(感謝)の日」とも言われています。この節目に合わせ、今週は改めて身近な人や物事への「感謝を伝える一週間」として過ごしていければと考えています。先週6日(金)には、6年生の卒業を共に祝い、感謝の気持ちを伝えるとともに、思い出を振り返る場をみんなで創り上げながら楽しい時間を過ごす「6年生を送る会」が行われ、在校生、卒業生共に感謝の気持ちを伝え合うすてきな時間となりました。



子どもたちがこの一年で大きく成長できたのは、本人の努力はもちろんですが、共に切磋琢磨した友達、そして日々の学習や生活に寄り添い、時には厳しく、時には温かく励まし続けてきた教職員の支え、何より、毎日一番近くで見守ってくださった保護者の皆様の存在があったからです。「ありがとう」という言葉は、発する側も受け取る側も、心を前向きにする力を持っています。この一年を振り返り、自分を支えてくれた人々への感謝を言葉にすることは、子どもたちが「自分は一人で大きくなったのではない」と実感する大切な学びとなります。そうした心の充実こそが、年度末を締めくくる「有終の美」に彩りを添えてくれるはずですよ。

「心のバトン」を次学年へ

有終の美を目指すプロセスにおいて、何より尊いのは「自分なりに精一杯やりきった」「みんなのおかげでここまで来られた」という清々しい心持ちで修了式や卒業式を迎えることです。その達成感と感謝の気持ちが、新しい学年へ向かうための力強いエネルギーとなります。

ご家庭でも、ぜひお子さんのこの一年の歩みを振り返り、「頑張ったね」「助かったよ、ありがとう」と声をかけてあげてください。その温かな一言が、子どもたちの背中を優しく押し、次の一歩への自信へと繋がります。

残りわずかな日数となりましたが、一日一日を大切に、子どもたちの笑顔が輝く締めくくりとなるよう、教職員一同、最後まで全力を尽くしてまいります。

ナイス!清川っ子

2026



ナイス!清川っ子2026

VORTEX大空
3年生(18.3.5)

第20回帯広信用金杯
争奪PEEWEE
アイスホッケー大会

『優勝』

読書貯金満期

2年 [] さん 4回目



第60回 卒業証書授与式について

1. 期日 令和8年3月24日(月) 午前10時から
2. 日程 児童登校 8:15
写真撮影 9:10 ⇒ 保護者の皆様は、この時刻までにふれあい館へおいでください。
卒業証書授与式 10:00~11:00
学級指導 11:05~11:25
卒業生下校 11:30
3. その他
 - ・上履き、スリッパ等履き物をご準備くださいますようお願いいたします。
 - ・式当日、風邪症状や発熱等のある方はご来校をご遠慮くださいますようお願いいたします。



第4回清川中学校区 コミュニティ・スクール協議会

清川中学校区コミュニティ・スクール(CS)協議会は、令和2年10月に設置され、地域の各団体の代表10名で構成され、年4回開催されています。

今年度最後となる第4回目の協議会が1月21日(水)に開催され、今年度の活動反省、小学校、中学校の学校評価結果の成果と課題、そこから見出す小中一貫教育や家庭・地域との連携について意見交換を行いました。10名のCS協議会の皆様には、1年間大変お世話になりました。

令和7年度 CS協議会委員の皆様

様(連町)	様(連町)
様(長寿会)	様(保育所)
様(小学校PTA)	
様(連町)	様(連町)
様(長寿会)	様(同窓会)
様(中学校PTA)	

1年間、ありがとうございました。

令和7年度 体力調査の結果より

6月から9月にかけて、帯広市体力・運動能力実態調査(第1学年~第4学年、第6学年)及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査(第5学年)により、全学年で8種目(握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ)の実施に関する調査を行いました。第5学年を中心に、本校の子どもたちの体力や運動習慣の傾向をお知らせします。

【全校的な特徴】

- ◎全校的にソフトボール投げについては全国平均を上回っている。
- ◎反復横跳びについては、中・高学年で数値が全国に近づいている。
- △50m走、上体起こし、長座体前屈など筋持久力の項目については全国平均を下回る児童も多かった。

【第5学年全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童質問紙から】

- ・地域のスポーツクラブに入っている子が多い。
- ・運動やスポーツが好きで、体育の学習を楽しんでいる子が女子に多い。
- ・毎朝朝食を食べる割合が、男子で全国・全道平均よりも良い。
- ・テレビやゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間がやや長い傾向が見られる。

【今後の取組について】

全体的にみると学年が上がるにつれ、各項目の力の伸びが見られていますが、個人差の広がりも見られています。筋力、筋持久力を鍛えるためにも、体幹トレーニングなど全身運動の習慣づけが必要と考えます。

今後も、**運動の楽しさを味わう機会を増やし、休み時間等を活用した恒常的な体力向上の取組に努めるとともに、全校で取組の方向性をそろえた体育の授業改善を進めていきます。**

